

神奈川地本広報センター来場者強化週間を実施 ～中華街で自衛隊をPR～



中華街近隣でリーフレット等を配布する
神奈川地本キャラクター「はまにゃん」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資一 等海佐）は、4月16日（月）～22日（日）までの間、「神奈川地本広報センター来場者強化週間」を設定し、近隣の観光地である横浜中華街付近において、同センターのリーフレット、募集チラシの配布及び期間中の来場者に広報グッズの配布を実施した。

同センターは、横浜中華街から徒歩5分の場所にあるが、中華街へのメイン通りからはずれ、人通りの少ない路地にあるため今回強化週間を設け、来場者の増加を目的として行われた。

リーフレット等の配布には、神奈川地本キャラクター「はまにゃん」が出勤し、その愛らしい容姿で通行人や、観光客たちの人気を博し、「かわいー！一緒に写真撮って」と、記念写真を撮るほとんどの人がリーフレット等を受け取り、広報活動に絶大な効果をもたらした。「こんな場所に自衛隊のセンターがあるなんて知らなかった」「どこにありますか？」と、同センターに興味を示し、早速強化週間中の来場者が増加するなど今回のPR活動の成功に繋がった。



配布したチラシ 左：広報センター週間、右：募集チラシ

「第37回隊友美術展」に広報ブースを出展

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦一海尉）は、4月16日（月）から4月20日（金）の間、湘南信用金庫久里浜支店「湘南しんきんギャラリーくりはま」で行われた隊友美術展に参加し、募集広報活動を実施した。

この美術展は今回で37回目を迎え、横須賀地域事務所の出展は今回で12回目である。隊友会横須賀支部会員による、書道・絵画・水墨画及び彫刻等の作品展示に併せ、自衛隊のブースを開設した。募集パンフレットや護衛艦と戦車の模型、ポスター、写真などの展示をしたブースの周りには見学者で終始賑わい、見学に訪れた自衛隊OBからは「募集が困難な時期だけど、頑張ってください」と励まされた。

横須賀地域事務所は「今後も、このような地域のイベントに参加し、より多くの人に自衛隊の理解を促進し、防衛基盤の拡充を図っていく」としている。



「第37回隊友美術展」



「募集ブース展示」